

区議会レポート

44号

2018年4月5日発行

発行

かつしか区民連合

【区議会控室】 〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

f a x 03-3697-0137

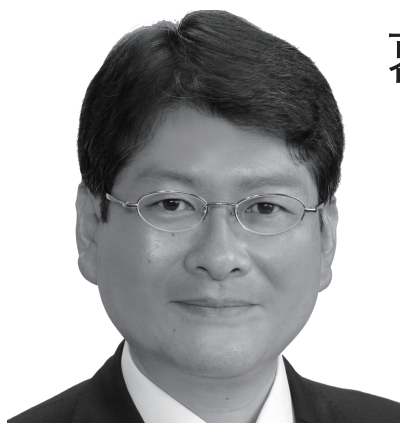
葛飾区議会議員

かわごえ誠一

本号の内容

表面：平成30年第一回定例会報告

裏面：予算審査特別委員会報告他

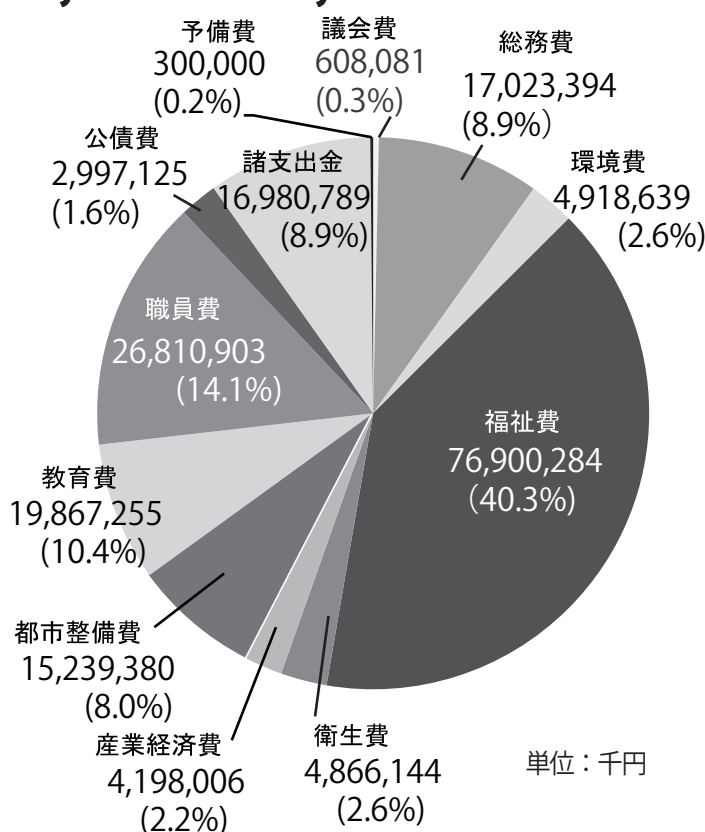


葛飾区議会第一回定例会閉会 平成30年度一般会計予算 1,907億1,000万円成立

去る3月28日に平成30年葛飾区議会第一回定例会が閉会しました。会期中に予算審査特別委員会が設けられ、最終本会議において平成30年度当初予算が可決、成立しました。一般会計予算は前年度から0.1%増の1,907億1,000万円となりました。各款別の予算状況は右グラフの通りとなっています。

今回の予算では福祉費が一般会計の約40.3%となっており、扶助費の他、特養の整備等高齢者支援や保育園待機児童対策等の予算が盛り込まれています。また、教育費が昨年に比べて約22%増となっていますが、これは、学校改築の他、新学習指導要領に対応するICTや英語教育、不登校や発達障害等の子どもへの支援体制の整備などに取組むための予算が盛り込まれました。

今定例会では持続可能性を念頭に議論をさせていただきました。特に2020オリンピック・パラリンピックへ向けて、スポーツのみでなく経済・観光・文化なども含む振興の方針を求めてきましたが、今後はオリパラ後に悪化するとの予想もある経済状況も見据えた持続可能な計画の策定を急ぐように求めてまいります。



かわごえ誠一連絡先

〒124-0012 葛飾区立石 8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail : info@kawagoeseiichi.com

かわごえ誠一オフィシャルサイト

www.kawagoeseiichi.com

日々の活動は Facebook をご覧ください。

かわごえ誠一プロフィール

●昭和38年3月川崎市生まれ ●東海大学第二工学部建設工学科卒 ●立石在住30年 ●一男二女の父親 ●保育園/学童保育クラブ父母会、小中学校PTA、おやじの会、図書館友の会、子育てネットワーク、三番瀬保全活動などに携わる ●元東京工業大学附属科学技術高校非常勤講師 ●前都議会議員伊藤まさき秘書を経て平成25年区議会議員選挙で初当選・平成29年二期目当選 ●かつしか区民連合幹事長 ●現在所属：議会運営委員会/総務委員会/地域活性化対策特別委員会

区議会第一回定例会 予算審査特別委員会報告

◆第一回定例会では平成30年度の予算審査をするための特別委員会が設けられ、四つの分科会で審議されました。かわごえ誠一は総務費等を所管する第一分科会、教育費等を所管する第四分科会に所属しました。ここでは第一・第四分科会で会派としての意見を紹介します。

第一分科会 総務費等

総務費：●総務管理費において区史編さん完了後の活用と情報発信、点字や音訳などのユニバーサル化への支援を求めます。●協働推進経費の協働HPの活用の推進を求めます。公衆無線LAN運用経費は防災面や災害時の活用と今後の公共施設での設置計画の策定を求めます。

●災害対策経費では街路消火器の設置本数の拡大と畜光機能を付加させることを提案します。●防災船着き場については平時の活用も含めて検討を求めます。

区民費：●地域貢献活動支援事業経費は3年目になる地域貢献活動サポートデスクの検証と市民活動支援に対する区の方針を明確にするよう求めます。●文化振興経費では文化振興に対する区の全体計画の策定やJobanアートの活用を求めます。

産業経済費：●東京理科大学産学公連携を推進し、産業振興向上への取組を求めます。●創業支援は創業前から創業後の経営安定まで一貫した支援を期待します。

第四分科会 教育費等

教育費：●スクールカウンセラーは全中学校での週二日配置を求めると共にスクールカウンセラーへのスーパービジョンの体制整備を求めます。●スクールソーシャルワーカーは更なる増員と大学等と連携し、人材確保を求めます。●学校図書館は29年度に行った小中2校の研究結果を活用し、学校司書の週24時間配置校の拡充を求めるとともに、新聞教育の導入、教育情報化推進計画での学校図書館システムの検討を求めます。●教職員研修は災害時図上訓練の導入を求めます。●特別支援教育は放課後等児童デイサービスとの連携を求めます。●正規の日本語学級の設置を評価し、にほんごステップアップ教室は指導者の身分の保証を求めます。●不登校対策は別室登校の拡充と特例校の検討、保護者支援等を求めます。●若者の社会参加支援事業は子ども応援課との連携を求めます。

社会教育費：●学校地域応援団は地域コーディネーターへの支援体制整備を求めます。●放課後支援事業は特別支援の必要な子どもへの専門性確保と共に、わくわくチャレンジ広場と学童保育が連携する将来像を示していただきたい。●文化財保護は地域に密着した文化財保護推進委員の活用を求めます。●博物館での郷土展示室改修は区民の意見を活かすと共に最新の展示方法の導入を求めます。

3月18日かわごえ誠一区政報告会開催

去る3月18日(日)にシンフォニーヒルズでかわごえ誠一区政報告会を開催しました。多くの方にご参加いただき感謝申し上げます。冒頭に11月の区長・区議選でも実施された「センキョ割り」について同実行委員さんからご紹介いただきました。政治を身近にし、投票率を上げる取り組みを広げていただきたいと思います。また、当日は音楽振興ネットワークのメンバーからJAZZ演奏を披露していただき、文化芸術の振興を考えながら、様々な方と意見交換をすることができました。今後もタウンミーティング等を実施してまいりますのでよろしくお願いたします。



区政報告をするかわごえ誠一

■雑感■ ◆かわごえ誠一区議会レポート44号をお読みいただきありがとうございます。区議会レポートでは区政やかわごえ誠一の活動を中心に記事を掲載させていただいているため、国政の動向等の論評は控えておりますが、ただ、昨今の国会での公文書問題については大きな懸念を持っています。◆公文書は行政の施策や、国民からお預かりした税金である予算の執行をいつだれがどのように決めてきたのかなど、その過程＝プロセスを記録し、それが法律に基づいて行われているのか、社会に対して公正な内容であったのかなど、外部や後世の人々が検証するためにはならないものです。しかし、現在の国政においてはその公

文書に対する認識が非常に軽いように感じています。森友・加計問題や南スーダン自衛隊日報問題には、現政権の公文書へのスタンスがにじみ出ているように感じてなりません。◆本来議会は行政をチェックをする立場にいます。法律に則り行政を監視していく側はしっかりと襟を正していかなければなりません。ましてやどのような状況であれ恣意的な公文書の改ざんを許してよいはずはありません。◆公文書の管理は国民主権に欠かせないものです。これは国や地方自治体の差はありません。よらしむべし、知らしむべからずの政治から脱却し、国民の知る権利を守るためにも葛飾区でも公文書の適正管理を進めていきたいと考えています。

かわごえ誠一オフィシャルサイト～ www.kawagoeseiichi.com
日々の活動は Facebook → かわごえ誠一 をご覧ください